

別記様式2

副 専 攻 プ ロ グ ラ ム 説 明 書

開設学部（学科）名〔教育学部（第二類）〕

| | |
|--|---|
| プログラムの名称 | (和文) 中等教育科学（理科）副専攻プログラム |
| | (英文) Secondary School Science Education |
| 1. 概要 | |
| <p>本プログラムは、中等理科教育の原理・内容・方法について、その概要を体系的に学習できるよう構成されており、中等理科教育に関する基礎的・基本的な知識を習得し理解を深め、幅広い知見を得ることができる。</p> | |
| 2. 到達目標 | |
| <p>1) 中等理科教育に関する基礎的・基本的な理論を学習し、理解を深める。</p> <p>2) 中等理科教授内容に関連した基礎的・基本的な知識を習得し、理解を深める。</p> | |
| 3. 登録時期 | |
| <p>プログラム開始（選択）時期は2年次である。</p> <p>プログラムの登録は、履修開始前の登録（事前登録）のみとする。</p> | |
| 4. 登録要件 | |
| <p>既修得要件は特に定めない。</p> <p>各「リテラシーⅡ」の履修にあたっては、それぞれの「リテラシーⅠ」の単位を修得していること。</p> | |
| 5. 受入上限数 | |
| <p>本プログラムの受入上限人数は約20名である。ただし教育学部生の履修を優先させ、授業により受講者数をおよそ50名以下に制限する場合がある。</p> | |
| 6. 授業科目 | |
| <p>※授業科目は、別紙の履修表を参照すること。</p> <p>※授業内容は、各年度に公開されるシラバスを参照すること。</p> | |
| 7. 修了要件 | |
| <p>別紙履修表に示す科目のうち、16単位を修得すること。</p> | |
| 8. 責任体制 | |
| <p>本プログラムは、教育学研究科自然システム教育学講座の教員により遂行される。その遂行上の責任は、プログラム責任者（講座主任）にある。計画・実施・評価検討・対処は、本プログラム教員会が行う。</p> | |
| 9. 既修得単位等の認定単位数等 | |
| <p>(1) 他大学等における既修得単位等の認定単位数等</p> <p>広島大学における既修得単位と合わせて8単位を上限とする。</p> <p>(2) 広島大学における既修得単位(科目等履修生として修得した単位を含む。)の認定単位数等</p> <p>他大学における既修得単位と合わせて8単位を上限とする。</p> | |

別表

中等教育科学(理科)副専攻プログラム 履修表

| 科目区分 | 授業科目 | 開設単位数 | 履修セメスター | | | | | | 要修得単位数 | 開設学部 | 備考 |
|------|-------------------|------------------|---------|-----|-----|-----|-----|-----|--------|------|---------------|
| | | | 3セメ | 4セメ | 5セメ | 6セメ | 7セメ | 8セメ | | | |
| 専門科目 | 専門必修科目 | 比較科学教育論 | ② | ○ | | | | | 12 | 教育学部 | |
| | 理科教育評価論 | ② | | | ○ | | | | | | |
| | 力とエネルギーのリテラシー I | ② | ○ | | | | | | | | 主専攻プログラムでは2セメ |
| | 物質と反応のリテラシー I | ② | ○ | | | | | | | | 主専攻プログラムでは2セメ |
| | 生物とその多様性のリテラシー I | ② | ○ | | | | | | | | 主専攻プログラムでは2セメ |
| | 宇宙と地球のリテラシー I | ② | ○ | | | | | | | | 主専攻プログラムでは2セメ |
| | 専門選択科目 | 力とエネルギーのリテラシー II | 2 | | ○ | | | | 4 | 教育学部 | 主専攻プログラムでは3セメ |
| | 物質と反応のリテラシー II | 2 | | ○ | | | | | | | 主専攻プログラムでは3セメ |
| | 生物とその多様性のリテラシー II | 2 | | ○ | | | | | | | 主専攻プログラムでは3セメ |
| | 宇宙と地球のリテラシー II | 2 | | ○ | | | | | | | 主専攻プログラムでは3セメ |
| 合計 | | | | | | | | 16 | | | |

〈履修上の注意〉

1. 開設単位数欄の○印は必修を表す。
2. 履修セメスターの○印は標準履修セメスター
3. 専門選択科目を履修するには、各分野の「リテラシー I」の単位を修得していることを条件とする。
4. 副専攻プログラム用の各「リテラシー」の科目は、主専攻プログラムと同時開講とする。